

L・ダ・ヴィンチ最後の作品 〈男性版モナ・リザ〉は 誰の手に——？

華やかなオークションの裏で、 暗躍する者たちと蠢く陰謀とは——

2017年、アート界に激震が走った！ 一枚の絵がオークションで、L・ダ・ヴィンチの最後の絵画とされる「サルバトゥール・ムンディ」= 通称「男性版モナ・リザ」として、史上最高額となる510億円で落札されたのだ。購入者は誰か、これによって真のダ・ヴィンチ作品だと証明されたのか？ 今なお謎が深まるばかりのこの名画に関わる秘密を鋭く紐解くだけでなく、知られざるアート界のからくりから、闇の金銭取引までをも生々しく暴く！



ミステリー小説を遥かに超える、
先の読めないスリリングな“事実”の波状攻撃に、
常識も良識も爽快に破壊される
ノンフィクションムービー！

ダ・ヴィンチには“消えた絵”があり、それには救世主が描かれているという説がある。名も無き競売会社のカタログに掲載された絵を見て、もしかしたらと閃いたNYの美術商が13万円で落札したのだ。彼らはロンドンのナショナル・ギャラリーに接触、専門家の鑑定を得たギャラリーは、ダ・ヴィンチの作品として展示する。お墨付きをもらったこの絵に、あらゆる魑魅魍魎が群がった！

意外な身元を明かすコレクター、手数料を騙し取る仲介者、利用されたL・ディカプリオ、巧妙なプレゼンでオークションを操作するマーケティングマン、国際政治での暗躍が噂されるある国の王子——。一方で、「ダ・ヴィンチの弟子による作品だ」と断言する権威も現れる。そして遂に、510億円の出所が明かされるが、それはルーブル美術館を巻き込んだ、新たな謎の始まりだった——。

★★★★★

ミステリー小説に匹敵するスリル！

——ザ・エコノミスト紙

★★★★★

赤裸々すぎる！

アートの価値観が変わる一本

——タイムズ紙

監督：アントワヌ・ヴィトキヌ

原題：The Savior For Sale | 100分 | フランス映画 | カラー | ヴィスタ | 5.1chデジタル | 字幕翻訳：松岡葉子

配給：ギャガ GAGA★ ©2021 Zadig Productions

gaga.ne.jp/last-davinci/

@Last-davinci_movie @gagajapan @gagamovie

